

起業支援ファンド
「HAKOBUNE1号投資事業有限責任組合」
に出資を行う組合契約を締結

独立行政法人中小企業基盤整備機構（理事長：豊永厚志 本部：東京都港区）は、ファンド出資事業（起業支援ファンド）において、HAKOBUNE1号有限責任事業組合を無限責任組合員とするHAKOBUNE1号投資事業有限責任組合に対し、中小機構出資分として5億円を出資することで合意し、組合契約を締結いたしました。

『HAKOBUNE1号投資事業有限責任組合』は、大企業での事業経験等により知見と勝算をもって試行錯誤できる起業家を“大人起業家”と定義し、“大人起業家”が生まれる文化の醸成を目指し、プレシード・シード期の“大人起業家”によるスタートアップを中心に投資、ハンズオン支援を実行するファンドです。本組合では、引き続き出資者の募集を行うことで、総額20億円の規模とすることを目標としています。

引き続き中小機構では、全国9カ所の地域本部等が有する支援ツール等を最大限に活用しながら、中小企業を支援して参ります。

<独立行政法人中小企業基盤整備機構（中小機構）>

中小機構は、事業の自律的発展や継続を目指す中小・小規模事業者・ベンチャー企業のイノベーションや地域経済の活性化を促進し、我が国経済の発展に貢献することを目的とする政策実施機関です。経営環境の変化に対応し持続的成長を目指す中小企業等の経営課題の解決に向け、直接的な伴走型支援、人材の育成、共済制度の運営、資金面での各種支援やビジネスチャンスの提供を行うとともに、関係する中小企業支援機関の支援力の向上に協力します。

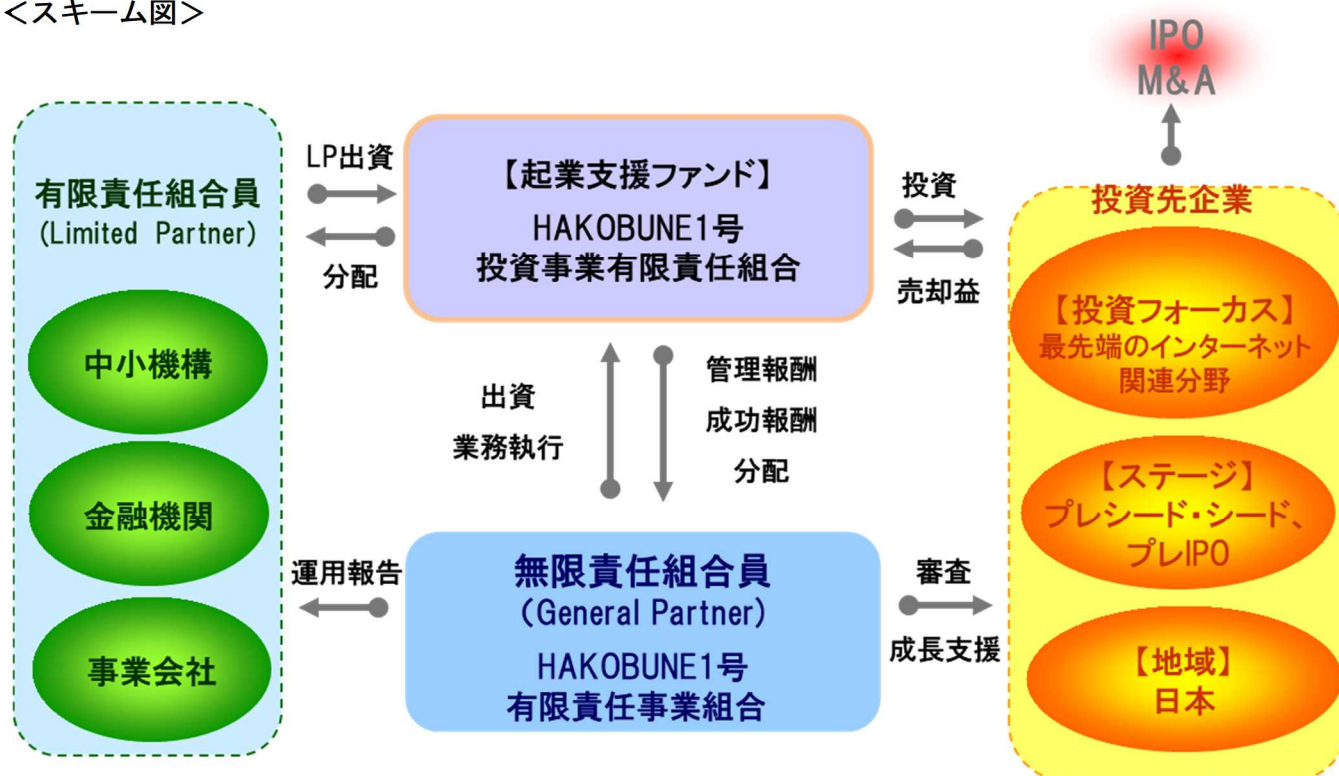
<本件に関するお問い合わせ先>

独立行政法人 中小企業基盤整備機構
ファンド事業部 ファンド事業課（担当者：鈴木、大穂）
住所：東京都港区虎ノ門3-5-1 虎ノ門37森ビル
電話：03-5470-1673（ダイヤルイン）

◆ 「HAKOBUNE1号投資事業有限責任組合」の概要

- 「HAKOBUNE1号投資事業有限責任組合」は、HAKOBUNE1号有限責任事業組合（所在地：東京都中央区）を無限責任組合員として、2022年5月に設立された投資ファンドです。
- 運営事業体となる HAKOBUNE1号有限責任事業組合は、起業家コミュニティの運営やプレシードスタートアップへの支援を行ってきた 栗島 祐介 氏 と シード～プレ IPO まで幅広いスタートアップへの投資実績を持つ 木村 正博 氏の2名により、既存産業の変革や新産業の創出を目指すインターネット関連分野のスタートアップに対する投資及び投資先の成長ステージに合わせたハンズオン支援を実施することとしています。

<スキーム図>



<制度の内容及び実績について>

起業支援ファンドについて

https://www.smr.j.go.jp/doc/supporter/supportter_fund_investment_01.pdf

中小機構ファンド事業出資実績

https://www.smr.j.go.jp/doc/supporter/supportter_fund_investment_04.pdf